

神奈川県教育委員会教育長 殿

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	小田原高等学校	課程・学科 教育部門・学部	定時制・普通科
-----	---------	------------------	---------

1 学校のミッション

定時制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、単位制の利点をいかした年次進行を基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自ら進んで学習する調和のとれた人材の育成をめざして、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ってきたが、今後はさらに、すべての教科等において、学び直しや生徒が互いに学び合う学習活動を取り入れるなど、知識・技能の習得のみならず、それらを活用する力を育む魅力ある授業を展開し、生徒の主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援を行い、卒業と進路希望の実現に向けたきめ細かい指導に取り組む。

2 学校教育目標

- 基礎的・基本的な知識・技能を着実に身につけ、また、それらを活用する力を育むとともに、自ら学ぼうとする態度、互いに学び合おうとする態度を持った生徒を育成する。
- 基礎的・基本的な生活習慣の確立とともに、進路等の目標の実現に向けて、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することのできる生徒を育成する。
- 安心・安全な学校体制を確立するとともに、地域に開かれ、信頼される学校づくりを進める。

3 計画策定時点での課題

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得する授業の充実は図られているものの、生徒が受身的になっており、自ら主体的に学ぼうとする態度や、互いに学び合う態度などがまだ十分とはいえない状況である。
- 生徒の基礎的・基本的な生活習慣の育成は以前より改善されたが、さらに学習等に向かう体制の確立が求められる。
- 生徒個々の事情・家庭環境等が多岐にわたっており、一人ひとりのニーズに合った進路指導が難しい状況もある。
- 学校の時間帯が夜間ということもあり、地域と連携の接点を見出すのが難しい状況がある。
- 夜間に自然災害等が発生した場合の生徒の安全の確保について、さらに検討を加え、防災設備、備品を含めて、充実を図る必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒が主体的に学ぶ意欲を高める教育課程編成を行う。</p> <p>②すべての教科等において、学び直しや生徒が互いに学び合う学習活動を取り入れるなど、知識・技能の習得のみならず、それらを活用する力を育む魅力ある授業を展開する組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①教育課程検討委員会を中心として、教育課程や学習指導の在り方について検討を進める。</p> <p>②生徒による授業評価を活用し、教科ごとの研究会等を通して、組織的な授業改善を着実に推進する。</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒の基礎的・基本的な生活習慣の確立に努める。</p> <p>②生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援を行う。</p>	<p>①円滑な社会参画ができるよう、学校生活の各場面において、校内ルール・マナーを尊重する態度を育成し、落ち着いて学校生活に取り組む校内風土を醸成する。</p> <p>②面接等を通して生徒の教育的ニーズを着実に把握し、ケース会議等を活用して組織的に対応する。</p>
3	進路指導・支援	<p>①豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することのできる生徒の育成を図る。</p> <p>②卒業と進路希望の実現に向けたきめ細かい指導を行う。</p>	<p>①キャリア教育を通して、生徒の豊かな人間性や社会性を培い、将来の社会人・職業人としての資質の基礎を育む。</p> <p>②面接等を通して生徒の進路希望等を着実に把握し、個に応じた段階的な進路指導を実施する。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域等との協働による、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりを進める。</p>	<p>①地域の教育力を活用するとともに、生徒自身が地域と関わる場面を設定することにより、地域から信頼される学校づくりを推進する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒の安全、安心が確保された学校づくりを進める。</p> <p>②事故・不祥事のない、信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①防災教育と防災設備充実を両輪として、安全、安心が確保された学校づくりを進める。</p> <p>②事故防止会議を中心として事故・不祥事のない体制を整えとともに、風通しの良い職場風土を醸成する。</p>